

令和6年度 高山市立宮中学校 経営構想

【学校の教育目標】

磨く

～自主 友愛 一之宮愛～



◎高山市小・中学校教育の方針と重点
【方針】郷土高山に根ざし、
未来を切り拓くための資質・能力を育む

【重点】挑戦し続けるたくましさの育成
★個と向き合う

地域の個性
○コミュニティスクール
「地域と共にある学校」「保小中の連携の強さ」
○豊富な地域の財産（自然・文化）
「位山、臥龍桜、水無神社、巨石群、宮笠、
モンテウススキー場、みややん 等」

【重点課題】
□主体的な「対話」を通して、自らを高める
学びづくり
□願いをもち、挑んでやり抜いていく自分づくり
□協働する中で、互いのよさを尊重しあう
仲間づくり
□「にじ色」の学びスタイルの構築
□保小中一貫教育・まちづくりへの参画の推進

本校の生徒の「強み」
強み…「地域で育まれた素直さ・誠実さ、明るさ」
「郷土愛の強さ」

にじ色の生徒の「強み」
強み…「にじ色で学ぶのだ」という覚悟
個性の豊かさ

宮中学校 本校

学習指導部会

生活指導部会

学びの多様化教室 にじ色

自主

「変化を起こすために、自分で目標を設定し、
振り返り、責任をもって行動する生徒」を育むために

- ◎個別最適な学び・協働的な学びの推進
- ・自分で選択できる場の設定
- ・多様な教材教具活用
- ・自分に合った学びの環境を提供
- ◎自ら計画し実行する家庭学習
- ・D-lifeによる学習計画と振り返り
- ・タブレットの持ち帰り活用

- ◎変化を求め、願いをもち、実現に向けて自ら
考え、行動する生活づくり
- ・「なりたい自分」づくりに向けた継続支援
(行事、生徒会等とのつながり)
- ◎生徒自身による質の高い生徒会運営
- ・生徒の願い、アイデアの尊重
- ・伝統、誇りの継承と発展

一人ひとりが「自分に合った学び方」を
身に付けるために

- ◎自己実現へのプロセスづくり
- ・「自分で決める」を尊重し、サポートに徹す
る
- ・一人ひとりのペースやタイミングを見極めな
がら支援する
- ・環境を整え、選択肢を増やす
- ・興味関心を大切に、できることを一つずつ
増やしていく

友愛

「仲間との関わりを通して一人一人のよさや個性を理解し、
お互いを尊重して行動する生徒」を育むために

- ◎仲間と学ぶスキルの向上
- ・相手の意見をきちんと受け止める力
- ・対話により自分の考えを深め、
広める力
- ◎特別の教科「道徳」の充実
- ・物事を多面的・多角的に考える
- ・人との交流、体験を通して自分自身
の意識の変容を自覚

- ◎互いのよさ、違いを受け入れ、尊重できる
関係づくり
- ・スマイルボックスの充実 ・縦割り活動
- ・自分を安心して表出できる仲間づくり
- ◎対話を大切にしたい積極的生徒支援
- ・教育相談の充実
- ・スマイルサポーターからの声かけ
- ・スピード感のある対応・情報共有

一人一人のよさや違いを理解し、「安心感
のある生活」を創り出すために

- ◎自分たちの居場所を自分たちで成立させ
る力を身に付けさせる
- ・周りの仲間や支える人たちを受け入れるこ
とや、支え合って生活することの楽しさ・辛
さ・大変さを学ばせるための手立てを大切に
する
- 《教えるべきことは教える、積極的に体験さ
せ・感じさせ・考えさせる》

一之宮愛

「地域の方々と学び、ものの見方や考え方を広げ、
自分の生き方を見つめる生徒」を育むために

- ◎地域と連携した一之宮学の推進
- ・「なりたい自分」とつながる一之宮
学への支援
- ・地域の個性を生かした学びの充実
- ・実行性とリンクした地域防災学習
- ◎家庭との連携
- ・眠育の推進（変容の分析・共有）
- ・家庭内での対話

- ◎まちづくりへの積極的参画
- ・行事、イベントへの提案型参加
- ・体験、奉仕活動への積極的参加
- ◎保小中の計画的な交流
- ・児童会と生徒会の合同活動
- ・対話を大切にしたい共通実践
- ・計画的な特別支援学級交流
- ◎「にじ色」との心のつながり
- ・仲間であるという意識の維持・向上と行

自分が学校生活を送る「にじ色」という環
境の中で、自分の生き方を見つけるために

- ◎夢と希望を切らさないための支援・援助
- ・それぞれの活動の出口の見通しを持たせる
- ・進路実現への丁寧な説明、働きかけ、
意欲づけ、見届け、励まし
- ・個別対応を成立させるための「支援体制
の構築」
- ・保護者との連携

【宮小・中で育てたい資質能力】

自分の考えをもち、進んで対話する力 ～自ら、変化を求めて～

「チーム宮中」の指導の構え

- ・本校65人、にじ色12人、全校生徒77人は全員「宮中」の生徒。
全ての生徒を全職員で見守り、育てる。
- ・「変化」を恐れず、「進化」を求める。「現状維持は衰退の始まり」
- ・「自分で求めさせる」「自分で考えさせる」「自分でこたえを出さ
せる」という営みに徹する。
- ・子どもだからこそ、あえて“子ども扱いしすぎない”

